

期 日 平成26年2月9日（日）

会 場 モラロジー研究所 大阪出張所

テーマ：「利他性を考える」

開会挨拶	大野 正英 (道徳科学研究センター センター長)	9:00～9:10
1. 玉井 哲 「カウンセリング社会の最高道徳—実存分析療法との対話から—」 (廣池学園モラロジー事務所)		9:10～9:40
2. 木下 城康 「親学の利他性を考える」 (研究助手)		9:40～10:10
3. 竹内 啓二 「ケアの理想への現実的接近—三井さよ著『ケアの社会学』を中心に—」 (教授)		10:10～10:40
	《休 憩》	10:40～11:00
4. 冬月律 「宗教教団における利他性を考える—社会活動との関連性を手掛かりに—」 (研究員)		11:00～11:30
5. 宮下 和大 「儒教における利他性の考察にむけて」 (主任研究員)		11:30～12:00
	《昼 食》	
6. 立木 教夫 「脳と心の科学技術倫理 ロボットを介して考える利他」 (客員教授)		13:00～13:30
7. 望月 文明 「利他と公平：最後通牒ゲームにおける利他的な申し出への反応から」 (主任研究員)		13:30～14:00
	《休 憩》	14:00～14:20
8. 梅田 徹 「市場概念のリフレーミング：エコノミズムを超えて」 (教授)		14:20～14:50
9. 大野 正英 「経済学は利他性をどう捉えるか」 (センター長・教授)		14:50～15:20
全体討論		15:20～15:50
閉会挨拶	大野 正英 (道徳科学研究センター センター長)	15:50～16:00

注 教授・研究員は道徳科学研究センター教授・研究員。
発表テーマ・プログラムは都合により変更することがあります。